日本の知恵 フラスチックの知恵

「日本の美」を変えた革新者

しい握り飯を食べはじめ、周りの失笑を買います。

が豪華な弁当を広げている横で、光琳は竹皮に包んだ倹送っていたある日、川船で花見に繰り出します。みんな 的に絵筆をとりはじめたのは40歳のころ。遊興の日々を 京都の呉服商の次男として生まれた尾形光琳が、本格

ており、川面を優雅に流れていったのでした。 とその竹皮には金箔が施され、漆黒の流水と花が描かれ 食べ終えて、竹皮を無造作に川に投げ捨てると、なん

を裏切るような革新者でした。 の美」の世界を縦横無尽に駆け抜けた光琳は、既成概念 蒔絵などの漆工芸、陶芸や染色まで、光琳模様で「日本

らない丈夫な半導体基板材料です。 半導体基板材料「LαΖ®」。薄くて硬く、熱にも反り返 マートフォンなどで、注目されている住友ベークライトの 現在、プラスチックの概念を変えたのは、薄型化するス





基板材料「LαΖ®」を使用した 極薄基板例。総厚80um 従来 基板材料との比較。ロール材で の提供も可能です。

LαZ®事業部